

環境報告書 2023



Creation & Harmony



SK-Electronics CO., LTD.

「自然との調和」 *Harmony*



コンテンツ

ごあいさつ	02	社内環境活動	05
環境への取り組み	02	社会貢献活動	06
環境活動の歩み	03	環境保全活動	07
環境管理組織	03	今後の取り組み	07
環境マネジメントへの具体的取り組み	04	会社概要	07

編集方針

この「環境報告書」は、当社が地域社会の一員として環境保護の責任を担い、これまで取り組んでまいりました環境保全活動ならびに社会貢献活動の内容や成果をご紹介しますことで、当社の「環境」に対する考え方を皆様にご理解いただくことを目的に作成いたしました。

ごあいさつ

エスケーエレクトロニクスは「創造と調和」を経営理念としています。「創造」とは常に積極的に新しい価値創造に励み、社会の求めるより良い製品をご提供するという意味です。

「調和」とは、社会との調和、**自然との調和**、そして人との調和を大切にした企業活動により社会的責任を果たすという意味が込められています。

この経営理念に基づき、当社の環境理念である「常に自然の恵みを大切にし、企業活動を通じて環境改善に取り組み、自然との調和を実現します。」を策定いたしました。

地球の限りある資源のもとに事業活動を行う当社は、環境保全や環境負荷低減のために、その事業の成果をもって貢献する責務があり、また環境問題への取り組みは企業価値向上につながる重要な企業活動の一つと考えています。

今後は、社会の求めるより良い製品をご提供するとともに、地球環境保全や環境負荷低減に貢献し、環境理念である「自然との調和」の実現を目指してまいります。



代表取締役社長

環境への取り組み

当社では、環境経営を実践していくうえで重要なシステムとなる環境マネジメントシステム(ISO14001)の認証を、2002年に京都工場、2011年に滋賀工場で取得しました。

また、環境理念に基づく8つの環境方針を策定し、掲げた環境目標を達成するために環境管理体制を整備して、社員一人ひとりの環境意識向上に取り組んでまいりました。

地域社会とのコミュニケーションも重要な取り組み課題の一つと考え、事業所周辺の身近な地域社会における環境保全活動ならびに社会貢献活動を地域の方々とともに進めております。

今後は、後ほどご紹介申しあげます社内環境活動や社会貢献活動、環境保全活動の継続ならびに充実を図り、当社が果たすべき社会的責務に積極的に取り組んでまいります。

経営理念 「創造と調和」

環境理念 私たちは、経営理念に基づき、常に自然の恵みを大切にし、企業活動を通じて環境改善に取り組み、自然との調和を実現します。

- 環境方針**
1. 地球温暖化防止のため、省資源・省エネルギーに努めます。
 2. 汚染を防止し、循環型社会の形成に貢献(3R※の実践)し、環境保護に努めます。
 3. グリーン調達に取り組み、環境に優しい製品作りに努めます。
 4. 関連する環境法令や規制及び協定等を順守いたします。
 5. 環境教育を実施し、環境意識の向上を図ります。
 6. 社会貢献活動を実施します。
 7. 環境パフォーマンスを向上させるために環境マネジメントシステムの継続的な改善を図ります。
 8. この方針は社員に周知徹底すると共に、一般にも公開いたします。

※3R…Reduce(廃棄物の排出抑制)、Reuse(再利用)、Recycle(再資源化)

環境理念

私たちは、経営理念に基づき、常に自然の恵みを大切にし、企業活動を通じて環境改善に取り組み、自然との調和を実現します。

環境方針

「環境への取り組みはSKE社員の責務である。」を基本姿勢に、当社の事業活動や製品及びサービスによる環境影響を評価し、以下の方針に基づき環境問題に継続的に取り組んでまいります。

1. 地球温暖化防止のため、省資源・省エネルギーに努めます。
2. 汚染を防止し、循環型社会の形成に貢献(3Rの実践)し、環境保護に努めます。

※3R…Reduce(廃棄物の排出抑制)、Reuse(再利用)、Recycle(再資源化)

3. グリーン調達に取り組み、環境に優しい製品作りに努めます。
4. 関連する環境法令や規制及び協定等を順守いたします。
5. 環境教育を実施し、環境意識の向上を図ります。
6. 社会貢献活動を実施します。
7. 環境パフォーマンスを向上させるために環境マネジメントシステムの継続的な改善を図ります。
8. この方針は社員に周知徹底すると共に、一般にも公開いたします。

2020年 10月
株式会社エスケーエレクトロニクス
経営者 向田 泰久
システム管理責任者 吉川 隆
京都工場地区代表 小園 秀広
滋賀工場地区代表 田嶋 勇

SK-Electronics CO., LTD.

環境活動の歩み

2001年	10月	株式会社写真化学より分社し、株式会社エスケーエレクトロニクス設立
2002年	9月	京都工場でISO14001認証取得
2005年	5月	本社、京都工場での周辺地域清掃活動スタート
2006年	8月	本社前の戻橋児童公園へベンチ5脚寄贈 京都市より感謝状授与(2006年9月)
2007年	11月	社会福祉法人への支援活動を開始(京都工場)
2008年	6月	京都工場の所在地である久御山町内の幼稚園に「緑のカーテン」を設置
	8月	京都市、NPO法人、企業のハイブリッド組織で「水源の森づくり」活動に参画
	10月	「水源の森づくり」京北町の合併記念の森にて北山杉の第1回間伐作業に参加
2009年	3月	「水源の森づくり」第2回間伐作業に参加
	5月～10月	京都工場近隣2カ所の幼稚園に「緑のカーテン」を新たに設置
	7月	京都工場地域環境活動として、「木津川下津屋橋(通称:流れ橋)付近地域清掃」を実施
	11月	本社地域環境活動として、「堀川周辺地域清掃」を実施 発展途上国の子どもたちにフクチンを贈るため、ペットボトルキャップの収集を開始 滋賀工場の敷地の一角に農園を設け、野菜の栽培を開始
2010年	2月	関西盲導犬協会への支援活動を開始
	3月	「水源の森づくり」植樹作業に参加
	5月～10月	京都工場近隣3カ所の幼稚園に「緑のカーテン」を設置
	10月	滋賀工場にて「ひのきが丘企業会」主催の「環境美化の日」清掃活動へ参加
2011年	11月	「水源の森づくり」京都市右京区鳴滝音戸山にて竹林清掃活動に参加
	5月～10月	京都工場近隣3カ所の幼稚園へ「緑のカーテン」を設置
	9月	滋賀工場でISO14001拡張認証取得
2012年	3月	「合併記念の森 記念式典」と「森づくりパートナーによる植樹」に参加
	5月～9月	京都工場近隣3カ所の幼稚園へ「緑のカーテン」を設置
2013年	11月	滋賀工場にて「ひのきが丘企業会」主催の「環境美化の日」清掃活動へ参加
2014年	5月～9月	本社近隣の幼稚園に「緑のカーテン」を設置
2016年	4月	第1回滋賀工場地域環境活動として、「琵琶湖外来魚駆除大会」に参加
	5月～9月	本社近隣の幼稚園に「緑のカーテン」を設置
2018年	11月	第10回本社地域環境活動として、「堀川周辺地域清掃」を実施
2019年	4月	第11回京都工場地域環境活動として、「近鉄大久保駅周辺地域清掃」を実施
	9月	第4回滋賀工場地域環境活動として、「琵琶湖外来魚駆除大会」に参加
	11月	第11回本社地域環境活動として、「堀川周辺地域清掃」を実施
2020年	9月	第5回滋賀工場地域環境活動として、「琵琶湖外来魚駆除大会」に参加
	11月	第12回本社地域環境活動として、「堀川周辺地域清掃」を実施
2021年	4月	第12回京都工場地域環境活動として、「近鉄大久保駅周辺地域清掃」を実施
	12月	第13回本社地域環境活動として、「堀川周辺地域清掃」を実施
2022年	4月	第13回京都工場地域環境活動として、「近鉄大久保駅周辺地域清掃」を実施
	9月	第6回滋賀工場地域環境活動として、「琵琶湖外来魚駆除大会」に参加
	11月	第14回本社地域環境活動として、「堀川周辺地域清掃」を実施
2023年	4月	第14回京都工場地域環境活動として、「近鉄大久保駅周辺地域清掃」を実施
	9月	第7回滋賀工場地域環境活動として、「琵琶湖外来魚駆除大会」に参加

環境管理組織

- 当社では、社長を最高責任者として環境保全活動に取り組んでおります。
- 社長の命をうけた環境管理担当役員のもと、環境委員会を設置しています。
- 環境委員会で企画、検討を行った取り組みについて、スムーズに実施するために環境委員会は各職場代表で構成しています。
- 社員は環境委員会のもと、環境保全活動に取り組みます。

環境管理組織図



環境マネジメントへの具体的取り組み

環境目標

環境各期計画の実績

第1期 (2001年10月～2004年9月)

第1期は、CO₂削減と廃棄物削減に取り組みました。CO₂削減(売上原単位*)は、2001年9月期の実績値から20%削減の目標としましたが、2004年9月期には、23%の削減を達成しました。

廃棄物削減については、2001年9月期から40%削減の目標としましたが、3年間で51%の削減をすることができました。

※売上原単位…エネルギーの使用量/売上高

第2期 (2004年10月～2007年9月)

第2期の計画は、引き続きCO₂および廃棄物削減に取り組むと共に、水、電力、燃料、排ガス消費の削減を目指しました。

CO₂削減の結果は、2004年9月期の実績に対して15%削減の計画でしたが、新工場建設による設備増加のため、残念ながら2007年9月期には7%増になりました。

しかし廃棄物削減は、2004年9月期から30%削減の目標に対して2007年9月期には90%削減を達成し、大幅な削減となりました。

第3期 (2007年10月～2010年9月)

第3期は4つの目標を立てました。まず、グリーン購入率は目標の95%を目前にして達成することができませんでした。今後は維持管理を行い購入率の推移に変動がないよう取り組んでいくこととしました。事務用品購入量は、15%削減の目標に対して大きく上回る数字で目標を達成しました。コピー用紙購入量の削減は目標を達成できなかったため、次の3ヵ年計画では再度目標に掲げて削減を推進することといたしました。故紙・ダンボール排出量は、目標に対してわずかにオーバーしましたが、今後は維持管理を行い排出量が増加しないよう取り組むことといたしました。

第4期 (2010年10月～2013年9月)

第4期は具体的施策による残業時間の削減、電子決裁導入などによるコピー用紙の削減、エネルギー使用量削減(原油換算)の3つの目標を掲げました。残業時間の削減については、毎年3%、3年間で9%の削減を目指し、最終的に11%の削減を達成しました。コピー用紙の削減・エネルギー使用量削減については、毎年2%、3年で6%の目標に対し、コピー用紙は電子決裁システムの導入やミスコピーの撲滅活動等により3年間で19%の削減、エネルギー使用量はエレベーター等省電力設備の導入や節電意識の高揚により14%の削減を達成することができました。

第5期 (2013年10月～2016年9月)

第5期は、「改正省エネ法」に対する全社的な取り組みを重点課題として、エネルギー使用量削減(原油換算)を目標に設定しました。その結果は、3ヵ年トータルで3%削減の目標に対して、京都工場は1.9%の削減、滋賀工場は1.3%の削減と、様々な施策を実施したものの目標未達成に終わりました。

第6期～第9期 (2016年10月～2022年9月)

第6期から第9期までは、「エネルギー使用量削減(延床面積原単位)」と国内外で製品への使用が禁止されている化学物質について、当社でも製品へ含有しないよう管理を徹底するため、「有害物質に配慮した製品含有化学物質管理」を継続して目標に掲げております。詳細については、5ページに記載のとおりです。

第10期 (2022年10月～2023年9月)

第10期は「エネルギー使用量削減」の取り組みを継続しつつ、環境目標は「CO₂排出量削減」、「有害物質に配慮した製品含有化学物質管理」として活動いたしました。詳細については5ページに記載のとおりです。

●CO₂排出量削減

当社では昨年までの環境目標「エネルギー使用量削減」を「CO₂排出量削減」に変更し、当社の直接排出のみならず、サプライチェーン全体でのCO₂排出量削減を目指して活動を開始いたしました。

■SCOPE1,2

2021年9月期のCO₂排出量実績から168t-CO₂の削減を目標とし、生産設備の効率的運用や積極的に省エネ対策を実施した結果、削減実績は204t-CO₂となりました。

■SCOPE3

2023年9月期は主要材料等の調達にかかるCO₂排出量の調査を調達先様のご協力を得て実施しました。

●有害物質に配慮した製品含有化学物質管理

世界的な流れとして、地球環境への有害物質の影響を低減させることが産業界に求められています。当社でも京都工場・滋賀工場の両工場において、「当社製品への禁止物質含有をゼロ」を目標に掲げ活動を推進しました。取引先様にご協力いただき、新材料・新製品の導入時に、また定期的に禁止物質の含有がないかの確認を徹底することにより、「当社製品への禁止物質含有ゼロ」を昨年に引き続き達成しました。

社内環境活動

●滋賀農園

滋賀工場では社内環境活動の一環として、滋賀工場の敷地内の畑で野菜を育てています。害獣被害に長雨問題と毎年様々な問題に直面しながらも、自然と向き合いながら活動を続けています。今年もジャガイモ、タマネギ、ニンジン、トウモロコシなど様々な野菜を収穫することができました。コロナ以前に開催していたトウモロコシ祭りを数年ぶりに復活させ、滋賀工場のメンバーに振舞いました。



収穫したタマネギ



トウモロコシ祭りの様子

●環境講演会

6月は環境月間であることから、環境保全の意識を深めるための活動として各拠点で環境講演会を実施しています。講演には外部より講師をお招きし、拠点ごとに設定したテーマに合わせてご講演をお願いしました。

- ① 滋賀工場：『琵琶湖版SDGs「マザーレイクゴールズ(MLGs)」を学ぼう！』
- ② 本社：『2050年の脱炭素社会を暮らしの視点で考える！』
- ③ 京都工場：『電気代高騰に備え、省エネ術を知ろう』

滋賀工場でご講演頂いた話題の中には、琵琶湖の生態系に関する説明があり、夏に環境イベントとして参加している外来魚駆除大会と関連付けてお話を聞くことができました。実際ブルーギルやブラックバス等の外来魚は年々生息数が減っているという報告もあり、我々の貢献を実感できました。本社、京都工場でも取り上げて頂いた脱炭素や省エネのテーマは以前にも講演会で取り上げたことがありましたが、この数年の間に国や地域の考え方や政策は大きく変わったようで新鮮なお話ばかりでした。

コロナ禍の影響もあり、4年ぶりの開催となった今回は、オンラインも活用し、多くの社員に参加いただきました。今後も定期的に講演会を開催し、社員の環境教育を行うとともに、環境に関する取り組みを推進していきたいと思っております。



環境講演会の様子

社会貢献活動

●エコキャップ運動

社会貢献活動の一環として2009年12月より「エコキャップ運動」を継続しています。この運動はペットボトルのキャップを外して集め、リサイクル業者に売却し、キャップの再資源化で得た売却益により「発展途上国の子どもたちにBCGやポリオワクチンを贈る」ことで「再資源化」「CO₂の削減」だけでなく、「社会貢献」にも寄与することを目的としています。

本社・京都工場・滋賀工場の3拠点へ回収ボックスを設置した結果、2022年10月から2023年9月までに集まったエコキャップは**8,183**個でした。これにより約**5人分のポリオワクチン**購入が可能となり**64.449kg**のCO₂が削減できました。今後も引き続き社会貢献の一環として「エコキャップ運動」の取り組みを継続していきます。



● 第14回本社地域環境活動「堀川周辺清掃活動」

本社付近の地域環境活動として毎年「堀川周辺清掃活動」を実施しています。社員とご家族を含め17人の参加者が集まりました。清掃活動は本社ビルから扇町公園を目指すチームと丸太町通りを目指すチームの2班に分かれ、堀川通り沿いの清掃を行いました。コロナ禍も落ち着きが見え、普段の生活に戻りつつあるようですが、そのせいか大型ゴミ（こたつや傘、ボンベなど）が捨てられていました。相変わらず空き缶やペットボトルなどのポイ捨ても目立ちました。1時間程度の清掃時間で回収できたゴミの量は20kgにも及びました。今後も清掃活動を通して地域の方々との交流し、環境啓蒙、地域貢献を図っていきたくと考えています。



清掃の様子



本社玄関での参加者集合写真

● 第14回京都工場地域環境活動「近鉄大久保駅周辺清掃活動」

京都工場では、環境保全活動と地域貢献を目的とした「近鉄大久保駅周辺清掃活動」を継続しており、今回で14回目となります。今年は、新型コロナウイルスが5類感染症へ移行する直前の開催でしたが、当社の社員やお客様も利用する「近鉄大久保駅」の周辺をきれいにしようと、総勢16名の社員が参加しました。

今回は新たな清掃ルートの開拓を行うべく、例年とは反対側の駅の東側で3つのグループに分かれて清掃活動を行い、計7.65kgのゴミを収集しました。例年と異なるルートであったためか、ゴミの量は昨年と比べて増加しており、新たな清掃ルートの開拓は成功であったと感じます。すれ違う地域の方々からは、お礼や労いのお言葉をいただき、参加者が地域貢献を実感できる活動になりました。これからも、清掃活動を通じて地域の方々との交流を深め、環境保全や地域社会への貢献を継続していければと思います。



集合写真

● 第7回滋賀工場地域環境活動「琵琶湖外来魚駆除大会」

琵琶湖の生態系を保全するための活動として、外来魚防除認定を受けている市民団体主催で“外来魚駆除大会”が毎年企画されています。今年も滋賀工場地区の環境イベントとして有志を募り参加致しました。

去年に続き快晴に恵まれ、釣り日和の中での開催となりました。今年の釣果としては15匹の外来魚を釣り上げることができました。去年は20匹の釣果が得られましたが、今年は昨年よりも参加団体も多かったためか、釣果としては少し残念な結果となってしまいました。しかし、参加者が増えているということはそれだけ在来種を守ろうとする意識が広まっているとも考えられるので、環境活動として良い傾向だと感じました。これからもより多くの社員に在来種保護の意識を広めていくことができるように活動していきたいと考えています。



釣り大会の様子



集合写真

環境保全活動

● 太陽光発電システム

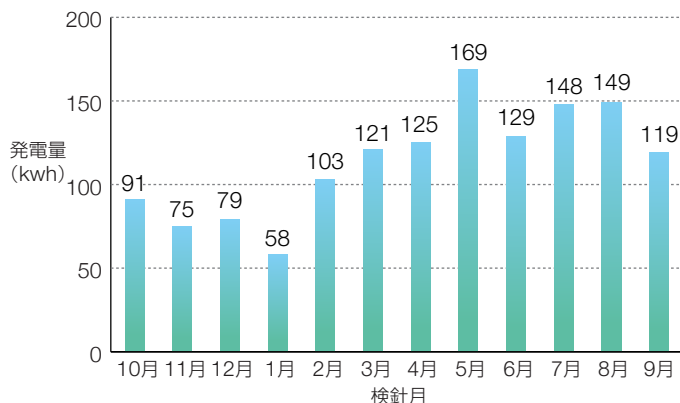
京都工場では、「クリーンエネルギー」である太陽光を利用した太陽光発電システムを導入し、環境保全に貢献しています。今期の発電量は、以下のとおりでした。

今期の積算〈2022年10月～2023年9月〉

検針月	月次積算量(kwh)	総積算量(kwh)
10月	91	24,387
11月	75	24,462
12月	79	24,541
1月	58	24,599
2月	103	24,702
3月	121	24,823
4月	125	24,948
5月	169	25,117
6月	129	25,246
7月	148	25,394
8月	149	25,543
9月	119	25,662
合計	1,366	25,662

※総積算量については、2005年1月からの積算量

太陽光発電積算量(kwh) ■ 月次積算量(kwh)



今後の取り組み

当社は、社会が求めるより良い品質で環境に優しい製品を提供するとともに、環境負荷低減や環境保全に貢献し、環境理念である「自然との調和」を実現するために以下の取り組みを実践していきます。

① 環境マネジメントの実践

具体的な取り組みとして、「環境教育」の実践により社員の更なる意識向上を図ってまいります。また、昨年より「エネルギー使用量削減」および「有害物質に配慮した製品含有化学物質管理」の継続実施に加えて「CO₂排出量の削減」の取り組みをスタートさせ、サプライチェーン全体でのCO₂排出量の削減を目指してまいります。

② 社会貢献活動の実践

毎週定期的に行っている本社・京都工場周辺の清掃活動は19年目を迎えました。また、本社近辺での堀川周辺地域清掃や京都工場に訪れるときに利用する近鉄大久保駅周辺の地域清掃を実施しています。全社で行なっている「エコキャップ運動」「関西盲導犬協会への支援活動」も継続していきます。

地域社会の皆様とコミュニケーションを図りながら、新たな社会貢献活動への参加や、ご要望をいただいている取り組みに積極的にお応えしてまいります。

③ 環境保全活動の実践

滋賀工場を有する当社では環境保全活動の一環として、また生物多様性の保全という観点から、滋賀県での実践活動として、「琵琶湖外来魚駆除大会」に参加し、ブルーギル・ブラックバス等の外来魚駆除を行う活動を2016年から行っています。今後も新しい活動に挑戦することにより、地域に貢献すると共に、社内の輪を広げていきたいと考えています。

会社概要

社名	株式会社 エスケーエレクトロニクス	SK-Electronics CO., LTD.
設立	2001年10月1日	
本社住所	〒602-0955 京都市上京区東堀川通り一条上ル豊富田町436番地の2	
事業内容	大型フォトマスク事業	
資本金	4,109,722 千円	
従業員数	380名(2023年9月30日現在)	

MEMO

A series of horizontal dotted lines for writing.



株式会社 **エスケーエレクトロニクス**
www.sk-el.co.jp

本 社 〒602-0955 京都市上京区東堀川通り一条上ル暨富田町436番地の2
TEL.(075)441-2333(代) FAX.(075)441-4291